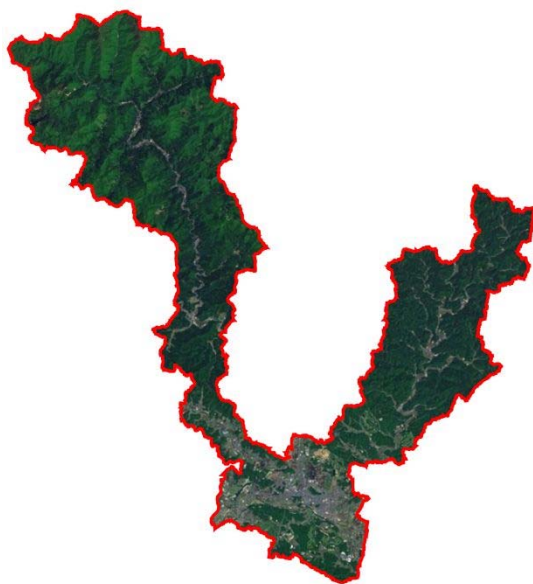


第2章 景観計画区域

1. 景観計画区域

本市の景観は、山や川等の自然による景観が基礎となっており、その範囲は市全域に渡ります。また、本市は都市と農山村の両面をもち、その関係は景観を考える上では切り離すことはできません。

したがって、景観計画を定める区域である景観計画区域は、市全域とします。



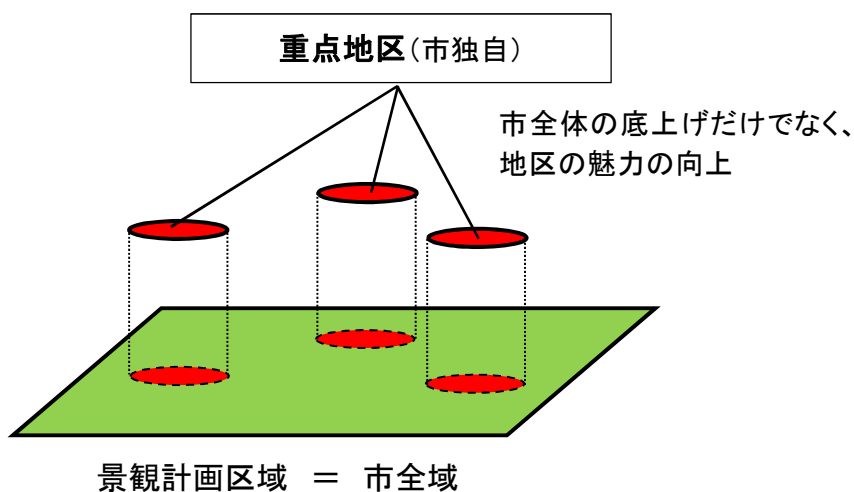
景観計画区域の範囲（市全域）

2. 重点地区

(1) 重点地区

本市の景観は、地域によって多様であり、景観形成には全市的な景観の質の底上げをするとともに、本市の地域の魅力をさらに向上させ、重点的な景観形成をバランスよく取り組んでいくことが重要です。したがって、本市の良好な景観を形成し、将来の世代に引き継いでいく上で、景観まちづくりを重点的に実施する「重点地区」として市が指定します。

なお、景観法において景観計画区域を定めることは、必須事項となっていますが、重点的に景観形成を図る地区は、景観行政団体が独自に定めるものとされています。



重点地区の指定のイメージ

- **重点地区の必要性**

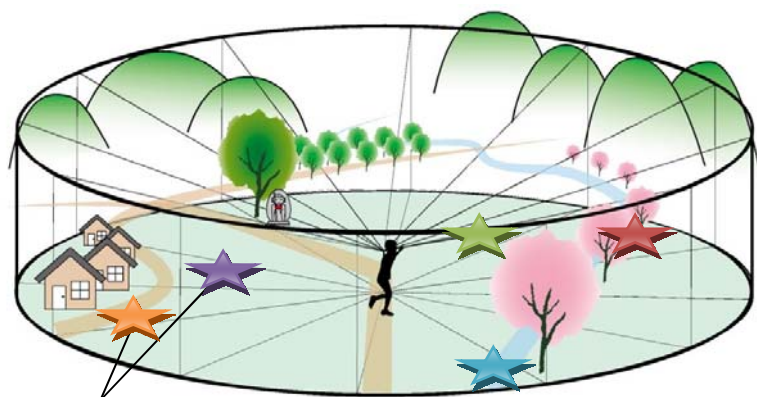
重点的に景観形成を図る地区として、全市的な景観水準を向上させるために先導的役割を果たすモデル地区を定めることで、市民の景観形成活動を誘導し、景観意識の向上や機運を高めることが有効です。

- **重点地区の種別**

本市においては、景観資源の特徴から重点地区を次の3種類に区分します。

重点地区（面的） ・ ・ ・ 面的な景観形成が望まれる地区

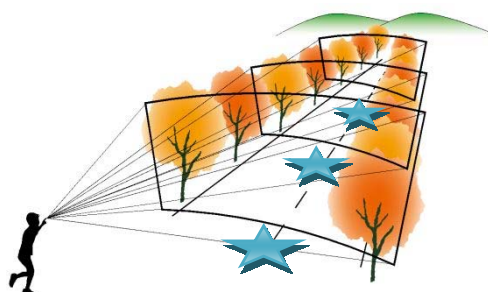
多様な景観資源が集積し、面として景観形成が望まれる地区とします。



景観資源

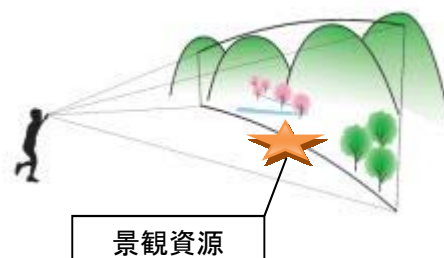
重点軸（軸的） ・ ・ ・ 軸的な景観形成が望まれる地区

道路や河川等、連続性のある軸として景観形成が望まれる地区とします。



重点眺望拠点（点的） ・ ・ ・ 点的な景観形成が望まれる地区

良好な景観資源をながめる視点を特定でき、点として景観形成が望まれる地区とします。



(2) 重点地区候補地の選定の考え方

重点地区は、次の3つの考え方から選定します。重点地区は景観計画の策定後でも、地区住民の合意形成が図ることができれば順次に追加して指定することができるものとし、段階的に指定していくことを目指します。

そのため、特に本市において地域固有の景観を有する地区については、重点地区候補地として、重点地区の指定に向けた取り組みを継続していきます。

選定の考え方

考え方① 本市の魅力を向上させる地区

- ・ 景観アンケート・景観写真募集等の「関市を代表する景観、誇りに思う景観」、「好きな景観」から抽出

考え方② 市民による景観まちづくりの実績のある地区

- ・ 景観まちづくりに取り組む住民組織がある

考え方③ 景観まちづくりのモデルとして適した先進的な地区

- ・ 関市が政策として景観形成を実施（実施予定を含む）する地区を抽出

重点地区に想定される候補地（31 地区を選定）

上記の考え方にあてはまる景観資源から 31 地区を選定しました。

（「重点地区に想定される候補地一覧（P.13）」を参照）

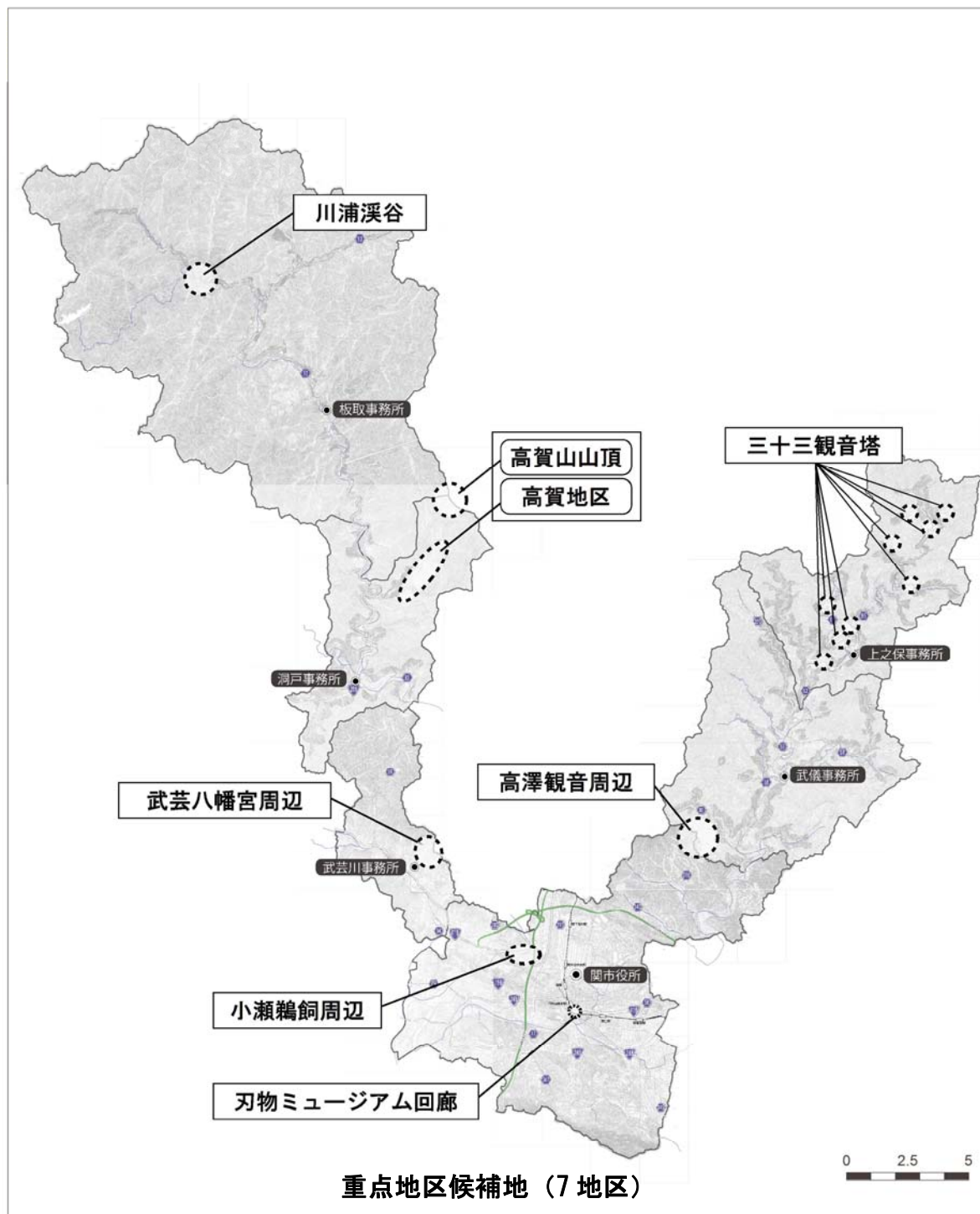
重点地区候補地（7 地区を選定）

住民の景観まちづくりの取り組みとして既に住民組織の基盤がある地区や、優先的に実施する地区を抽出し、以下の 7 地区を重点地区候補地を選定しました。

市街地ゾーン	西ウイングゾーン	東ウイングゾーン
小瀬鵜飼周辺 刃物ミュージアム回廊 武芸八幡宮周辺	高賀地区・高賀山山頂 川浦溪谷	高澤観音周辺 三十三観音塔

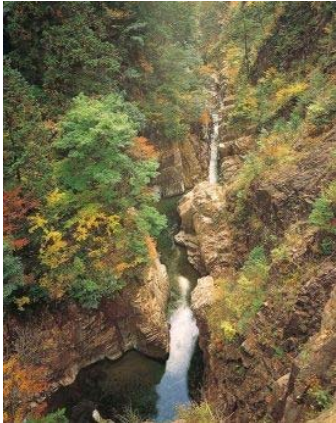
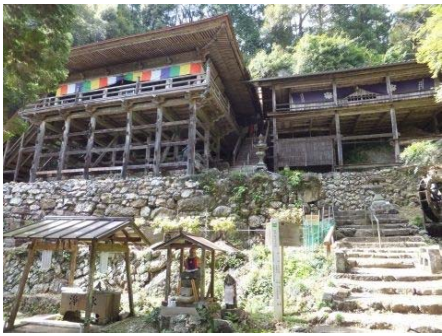
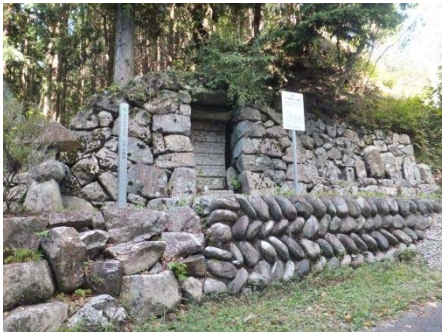
(3) 重点地区候補地（7 地区）

重点地区候補地の 7 地区の箇所及び選定理由は以下のとおりです。



[重点地区候補地（7 地区）の選定理由]

候補地	選定理由
小瀬鵜飼周辺	本市を代表する観光地であり、自然公園に指定されている長良川の豊かな自然とともに、小瀬鵜飼、弥勒寺跡、円空等の景観資源があり、全国的に評価をうける自然と歴史・文化が調和する地区である。 現在、弥勒寺跡の発掘調査や、遺跡を巡る散策道の整備計画の検討が進められている。 
刃物ミュージアム回廊	「刃物のまち関」を象徴する地区であり、また古来から東西交通の要衝「濃州関」として発展してきた。伝統産業から近代産業にわたって本市の魅力を発信する上で重要な拠点を回廊として巡ることができる地区である。 現在、刃物会館の建替え予定やフェザー関工場の移転等から刃物ミュージアム回廊の再整備に向けた検討が進められている。 
武芸八幡宮周辺	武芸八幡宮は、関の「山見の聖軸（山をみる視線の確保）」の構造、鎮守の森の原型となる地区で信長親子の「安堵状」が残る等、関の歴史ある景観が残る地区でもある。その参道では、4 月中旬の祭礼に勇壮な花馬まつりが行われ、文化的なまつり景観も有する地区である。 これまで武芸八幡宮を守り継いできた氏子や八幡自治会により守られている。 
高賀地区 ・ 高賀山山頂	<高賀地区> 高賀山のふもとに位置する高賀神社から板取川支流の高賀川に沿ってのどかな集落が形成されている。高賀溪谷の豊かな自然景観の保全とともに、高賀山と高賀神社、参道となる集落景観が一体となった地区である。 高賀自治会では高賀神水庵を運営する等、地域活性化に向けた住民組織により守られている。 <高賀山山頂> 高賀山は、自然公園に指定された緑豊かな自然が残され、古来から庶民の敬崇を集めてきた高賀山信仰、白山信仰の眺望景観を有する。 住民から高賀山山頂からの 360 度の景観を保全する要望がある。  

候補地	選定理由	
川浦溪谷	全長約7kmにおよぶ断崖の溪谷は、その荘厳さとは対照的に春の岩つつじや秋の紅葉等の美しい景観を有している。人を寄せ付けない神秘的な市内随一の景勝地である。 本市を代表する景観として、将来に渡って住民と協働により、見ることによる眺望景観を保全していくことが求められる。	
高澤観音周辺	高澤観音は高沢山の豊かな緑に囲まれ、鎌倉時代の建立とされる多宝塔や美濃清水といわれる大日山日龍峰寺の荘厳な歴史ある景観を有している。 住民等により、むかし話に出てくる史跡、名所、文化財を巡る歴史ロマンウォーキングの実施や、境内におけるムーンライトコンサート等の活動が活発であり、住民組織により守られている。	
三十三観音塔	上之保地域に集中して造立されている九基の三十三観音塔は全国的にも珍しく、信仰の深さを物語っており、地域の貴重な石碑である。 上之保ふれあいのまちづくり推進委員会において、三十三観音塔を巡るウォーキングイベントが行われる等、地域活動が活発であり、住民組織等により守られている。	

[重点地区に想定される候補地一覧]

地域	No	候補地（案） （主な景観資源）	種 別	考え方		
				①	②	③
関	1	小瀬鵜飼周辺 （鵜飼、弥勒寺跡、円空等）	重点地区	●		●
	2	刃物ミュージアム回廊 （関鍛冶伝承館、関川の桜、刃物会館等）	重点地区	●		●
	3	宗休寺（関善光寺）周辺	重点地区	●	●	
	4	吉田川の桜	重点軸		●	
	5	関川の桜	重点軸	●	●	
	6	吉田沖の田園	重点眺望拠点	●		
	7	関インターチェンジ周辺	重点眺望拠点			●
	8	関広見インターチェンジ周辺	重点眺望拠点			●
	9	関市役所・各支所周辺（花づくり）	重点眺望拠点	●		
	10	百年公園周辺	重点眺望拠点	●		
	11	長良川	重点軸	●		
	12	安桜山	重点眺望拠点	●		
	13	中池	重点眺望拠点	●		
	14	本町	重点地区	●		
	15	並木道	重点軸	●		
	16	新長谷寺（吉田観音）周辺	重点地区	●		
武芸川	17	武芸八幡宮周辺 （寺社、大杉、花馬まつり等）	重点地区	●	●	
	18	寺尾ヶ原千本桜公園周辺 （桜並木、寺尾猪垣等）	重点地区	●	●	
	19	武儀川	重点軸	●		
—	20	板取川	重点軸	●		
洞戸	21	高賀地区（高賀神水庵～高賀神社）	重点地区	●	●	
	22	高賀山山頂（高賀山 360 度の眺望）	重点眺望拠点	●	●	
板取	23	アジサイロード （国道 256 号線等の沿道）	重点軸		●	
	24	21 世紀の森公園	重点地区	●		
	25	川浦溪谷	重点眺望拠点	●		
—	26	津保川	重点軸	●		
武儀	27	清兵衛渚周辺	重点眺望拠点	●	●	
	28	平成こぶし街道	重点軸	●		
	29	高澤観音周辺	重点地区	●	●	
上之保	30	三十三観音塔	重点眺望拠点	●	●	
	31	上之保温泉ほほえみの湯からの眺望（女夫山、ひがん花等）	重点眺望拠点	●		

※「考え方」は 9 ページを参照